

地域包括ケアシステムの構築に向けた調査研究 ―御坊保健医療圏における訪問看護の実態と課題

平成 27 年 11 月 10 日

(疫学研究に関するお知らせ)

和歌山県地域医療支援センターと、和歌山県立医科大学大学院医学研究科 地域医療総合医学専攻地域保健医学領域地域医療マネジメント学では、以下の疫学研究を実施しています。ここにご案内するのは、在宅療養が必要となった場合に利用することができる訪問看護に関する調査研究です。これまでに利用された方の情報等をふり返って解析する「後ろ向き観察研究」という疫学研究で、本学倫理委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させていただく研究ですので、対象となられた皆様に、あらためて何かをお尋ねするということはなく、直接にご連絡をさせていただくことはありません。また、対象となられた皆様の情報を個別に検討するのではなく、地域の集団として検討することによって、訪問看護の利用状況と望ましい提供体制の整備など健康に関わる政策に役立つ検討を行います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報が利用されることを望まない場合や、研究についてご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

地域包括ケアシステムの構築に向けた調査研究 ―御坊保健医療圏における訪問看護の実態と課題

2. 研究責任者

上野雅巳(和歌山県立医科大学地域・国際貢献本部地域医療支援センター・教授、和歌山県地域医療支援センター・センター長)

3. 研究の目的

和歌山県の御坊保健医療圏（御坊市、印南町、日高町、日高川町、美浜町、由良町）において、訪問看護の利用状況と提供体制について客観的に調べて、ニーズと供給のミスマッチについて検証し、今後の域包括ケアシステムの実現に向けた基礎資料とします。

4. 研究の概要

(1)対象となる方

和歌山県の御坊保健医療圏内で、2012 年 4 月から 2015 年 3 月までの期間で、訪問看護を利用された方の訪問看護に関する情報が対象となります。

(2)利用させて頂く情報

訪問看護ステーションに保管されている利用者の記録から、年齢、性別、介護度、独居、診断名、看取り場所、支援内容、他のサービスの利用、居所の位置情報から算出した移動距離や所要時間を分析します。

(3)方法

訪問看護ステーションと利用者宅との移動距離について、地理や交通の便を考慮して所要時間を算出して、それによって利用者の健康の状態やサービスの提供体制にどのような特徴があるかを分析します。利用者の選択や、在宅医療・介護に関わる資源についても検討し、現状の課題と改善策について提案します。

5. 個人情報の取扱い

研究で扱う電子データには、個人を特定できる個人情報は含まれていません。研究ではデータを集団として扱って分析するため、研究成果を学会や学術雑誌で発表する場合も、個人が特定されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

研究は医学や保健医療の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の診療情報が利用されることを望まれない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、いかなる不利益も被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター 担当医師 上野雅巳
〒641-0012 和歌山市紀三井寺 811-1
TEL:073-441-0845 FAX:073-441-0846
E-mail:r-rccm@wakayama-med.ac.jp